

進路だより 7号

2年生へ告ぐ！

行動開始の時が来た

— 修学旅行が終わったら 受験体制に突入する —

2年生は、間もなく高校生活で最大の行事である「修学旅行」を迎えますが、これをもって高校生活も一区切りです。旅行後は、いよいよ各自の進路目標に向かって行動を開始する時間が始まります。

全国の進学校では、修学旅行後から本格的な受験体制に移行するのが普通です。ぜひ、本校2年生もこの動きに乗り遅れないようにしてほしいと思います。本校生も同様で、東北大、一橋大、医学部などをはじめとする「難関と呼ばれる大学や、2年次に掲げた第一志望の大学に現役で合格していた人の多くは、2年のこの時期から本格的な勉強を始めて力をつけていきました。

☆3年夏までにすべきこと

英数国

の基礎・基本を固める

① 『3教科バランス』の良い者が目標に近づく

3年生の夏までは、「英数国」の3教科を重点的に強化していくのが標準的な勉強法です。この3教科は、大学入試での配点が高く、内容も豊富なので、時間をかけて勉強しないと実力を高めることが難しいという特徴があります。それゆえ、3年生から始めても、目標点まで伸ばしきることができずに終わる人がたくさんいます。ぜひ、2年生のうちから、これまで学習した内容の基礎・基本をしっかり身につけたいものです。また、誰もが不得意な教科を持っているものですが、最終的に志望大に合格していく人は、英数国3教科の中に極端な苦手教科を持っていないという共通点があります。文系なら「英・国」、理系なら「数・英」の2教科の組合せを得意にできるとかなり有利になります。

② 日々の授業と予習・復習は受験に直結する

センター試験の「英数国」の出題は、2年次までに学習を終えた内容が出題の中心となります。3年次には、2年間の学習内容の復習を問題演習を中心に進めていくこととなりますが、3年次までに基礎を固めておかないと、入試レベルの実践的な問題演習を行うことができません。まず、現在、行われている授業とその予習・復習、課題や考査の反省などを大事にしましょう。それが、立派な受験勉強となり、大学受験に直結していくのです。

③ 理科・社会はテストの前後を大切に

2年生は、次回11月の模試からは、「理社」を加えた「5教科型」の受験になりますが、あくまで、家庭学習は前記のように、「英数国」の強化を最優先にすべきです。しかし、現実として、理社の勉強を3年から始めたのでは遅いのも事実です。特に、「理系の理科2科目（物理＋化学、生物＋化学）」と「文系の社会（特に日本史、世界史）」については、最終的に、センター試験だけでなく、国公立大の二次試験や私大入試で大事な勝負科目となりますから、2年次には「基礎づくり」をしておく必要があります。ゆえに、今後の考査や模試を、理社の復習の目標と定めて、計画的に進めれば3年までに基礎づくりができて効果的です。

★がんばれ、3年生！ センター試験まで約100日

試練の秋を乗り越えろ

9月19日（水）6・7校時に、2学年を対象に、県内外の国公立大学に通う本校卒の大学生10名を招いた「**先輩講話2018**」が実施されました。第1部のパネルディスカッションでは大学生活の様子や経済事情までの楽しいトークがあり、第2部の分科会では、現在、それぞれが大学で学んでいる学問の内容の話や今後の受験勉強のアドバイス等を聴かせてもらいました。2年生にとっては、大変、刺激的で有意義な時間になったと思われます。

最後に、講師を務めてくれた大学生の先輩方に、受験勉強真っ只中の3年生への「**激励メッセージ**」をリクエストしたところ、みなさん快く引き受けてくれました。ぜひ先輩方の熱いエールをエネルギーに変えて、3年生はこれから始まる「**試練の秋**」を乗り越えてほしいと思います。

■ 卒業生から3年生への『**激励メッセージ**』

❖大いに橋の先生方を利用してゴールを目指しましょう



小針彩乃さん（ 東北大学 文学部 3年 ）

きっと、今は不安や焦りがたくさんだと思います。わたしは、数学ができなくて困りました。そのため、数学の添削は毎日通っていました。数学の先生にしつこいくらい、朝も放課後もお伺いし、わからないところを相談していました。添削は1対1で行うため、自分に合う解法を教えてくれるので、知らないうちにわかるようになりました。要は、先生を頼ることです！先生を使うことです！きっと橋高校はみんなの味方です。大いに周囲の人を利用してゴールを目指しましょう！応援しています！

❖受験は自分が成長する格好の機会だと思います

尾形鮎美さん（ 東北大学 文学部 2年 ）

3年生の皆さん。夏休みも終わり、不安に駆られている人もいないのでしょうか。どうか食事と睡眠はきちんととってくださいね。あまり根を詰めると気が滅入ります。

勉強に関しては、どんな応用問題も基本的な文法や公式から成り立っているので、原点に返ることが大切だと思います。思い通りに行かなくても自分をあまり責めず、親や先生、友人との関わりも大事にしながら乗り切ってください。受験は考え次第では、自分が成長する格好の機会だと思います。何事もですが、自分の心、想い、命を尽くして頑張ったと言えることは自分の人生に活きます。「もう少しやってみよう」の精神で最後まで走り抜けてほしいです。皆さんの努力が報われることを心からお祈りいたします。

❖周りの人は、絶対に前向きになるための手助けをしてくれます

横山史佳さん（北海道大学 農学部 生物機能化学科 2年）

人間は、生きていくためにつらいことや苦しいことは忘れるようにプログラムされているそうです。今からその時期を迎えるみなさんには残酷かもしれませんが、正直に言って、3年の秋以降のことをわたしはあまり覚えていません。当時母がわたしの様子を書いた日記をもとに思い出してメッセージを書きます。

これからの時期、模試の回数がどんどん増えてきます。心身ともに苦しい時期です。わたしの場合、点数や偏差値が少しずつ伸びていても、自分が継続してきた努力の分だけ結果に結びついたと実感できることはありませんでした。わたしは、機械になろう、何にも動じずいつも前向きでいようと思しました。しかし、できませんでした。結果を見るたび、もどかしく、いらだち、落ち込みました。人が変わったようになっていたとも聞きました。甘えですが、家族の前ではもろにいらだちを表し、たくさん泣きました。先生には不安なこと、悩んでいることを何でも打ち明けました。そうすることで自分の気持ちの整理をし、前を向いて頑張るための心の管理をしていたのだと思います。わがままなものです。でも、みなさんの周りの大人はそれをきっと許してくれます。絶対に前向きになるための手助けをしてくれます。甘えましょう。頼りましょう。落ち込んでばかりもいられません。つらくても結果を的確に捉えなければなりません。自分はどこができてどこができないのか、模試の結果はそれをありありと見せてくれます。わたしはできなかつた問題の直しを何度もやりました。少し前の模試を忘れたころにまた解きました。模試はすべての分野からランダムに、あらゆる知識を使うように出題されていますし、難易度も演習に最適だと思います。続けると、赤本や学校の添削問題も解けるようになって実力が付いたことを実感できるはずです。努力は、想定より少し遅れて数字の結果に表れます。その上、たくさんやったという事実が自信になります。当然のことですが、実力と自信は受験にとって最強の武器です。まだ時間がありますから、焦らず、時には息抜きをしながら、誇れる武器を手に入れてください。皆さんの努力が納得のいく結果に結びつくよう、応援しています。

❖より一層、毎回の授業を大切に、足りないことを家庭学習で補う

岸波洋介さん（東北大学 工学部 電気情報物理工学科 2年）

今回3年生の皆さんへ激励メッセージを書かせていただけたということで、少しでも励みになればうれしいです。

僕は部活で2年生まで十分に勉強時間を確保出来なかったこともあり、引退後に焦って色々な方向に手をつけて、一杯一杯になりました。そこで夏休み明け以降は、より一層、毎回の授業を大切にしていました。自分の勉強、塾が忙しくて授業の内容がおろそかになるよりは、授業で足りないと思う内容を家庭学習で補填する気持ちでいた方が、負担が少なく済むかなと思います。

また、これから必ず苦しいときがあると思いますが、友人や先生方、家族にたくさん相談して、たくさん頼っていいと思います！話すだけで楽になることも有ります！人との繋がりを大切にしてください。頑張りすぎないように、でも後悔はしないように、皆さんの進路実現を願っています。

❖志望大への強い意志をもって自分の苦手と向き合っ

佐々木 董さん（新潟大学 医学部 保健学科検査技術専攻 2年）

受験期間の半分程度が過ぎ、成績が伸びている人・伸び悩んでいる人、様々いると思います。そういった事から、焦ってしまう気持ちもわかります。でもここで、自分がすべきことに目を向け、落ち着いて取り組んでください。自分が思う苦手と模試等で分かる苦手の分野の克服を、できる限りやってみてください。そして志望大学に対する強い意志をもって、自分の苦手と向き合ってください。その強い意志と努力が、志望大学合格という結果をきっともたらします。私がそうでした。それを信じ、これからの受験勉強を頑張ってください。応援しています。

❖不安な時は、応援してくれる周りの人の言葉を思い出して

高荒優華さん（福島大学 人間発達文化学類 2年）

受験勉強で1番大切な最後まであきらめないことだと思います。試験の結果がどうなるかは受けてみるまで誰にも分かりません。模試の結果が悪くても、志望校を諦めずに、後から後悔しないように、自分でやり切ったと思えるところまで頑張ってください。受験が近づくにつれて不安を感じることも多くなると思います。そんな時は応援してくれる周りの人の言葉を思い出してみてください。たくさんの方が自分を支えてくれていることを実感できて、少し不安が和らぐと思います。

楽しいキャンパスライフをイメージして、最後まで諦めないでください。応援しています。



❖自分の中の「譲れないもの」「大切にしていきたいもの」

黒須菜月さん（福島県立医科大学 看護学部 2年）

肌寒い季節になり、高3のこの時期は焦りや不安をより感じるようになったことを覚えています。どうしたらいいか迷う時があったら、自分の中での「譲れないもの」「大切にしていきたいもの」をきちんとさせておく。これが大切だと思います。自分で迷って決めた答えならきっと後悔しません。

受験勉強の中で辛い時がこれからもたくさんあると思いますが、そんな時こそ家族や先生方の声、共に目標に向かう友達、なにより自分の頑張りを感じて毎日を大切に過ごして頂きたいです。みなさんの進路実現を心より願っています。

❖これからが本当の本気でやる勉強、まだまだ変われます

齋藤理沙さん（千葉大学 法政経学部 2年）

高校生活のあらゆるイベントが終わり受験一本の生活が始まった人も多いと思いますが、これからが本当の本気でやる勉強だと思います。まだまだ変われます。私もこの時期、千葉大学の判定はDでした。でも、どうしても入りたいという強い気持ちと努力があれば、必ず伸びます。信じてください。

最後に試験を受けるのは結局自分1人ですが、受験生活では周りで支えてくれる友達、家族、先生がいます。頼ってください。私は勉強で行き詰まったときは、思いっきり歌ったり泣いたりしました。息抜きも大切です。自分が本当にやりたいことであれば頑張れます。やり抜いてください。応援しています。

❖今の頑張りとは将来の夢や目標に必ず役に立ちます

松本麻莉菜さん（福島大学 行政政策学類 2年）

受験は辛いことや苦しいことがたくさんあって、今はとても大変な時期だと思います。でも、今のがんばりは、皆さんの将来の夢や目標のために必ず役に立つはずですよ。あきらめずに、自分を信じてがんばってください！！応援しています！！

❖自分が努力した分だけ自分に戻ってきます

三浦 和さん（福島県立医科大学 看護学部 2年）

私は前期も後期も落ちて、私立も全部落ちて、後期の追加合格で受かりました。私は最後まで諦めないことで拾ってもらえることもあるということをお伝えたいです。周りが受かっていく環境の中、それでも自分を信じてやってみてください。また、ストレスが溜まって嫌になることがあると思うので、その時は適度に友達と励ましあったりして、自分なりのストレス解消を見つけてみてください。

自分が努力した分だけ自分に戻ってくると信じています。皆さんの希望する大学への合格を祈っています！

